

## 平成30年度 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（第1回）における主な意見

## 議事(1) 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況（平成29年度）等について

- 1 清洲城や貝塚資料館の入場者数を増やしていくためには、どこをターゲットにするかなど、対象を明確にしたやり方もあるのではないかな。  
また、入場者数を追っていくことも必要だが、訪れた方の満足度がどれだけあがっているかなど、質の部分を見ていくことが必要である。
- 2 昨年度、キンビール名古屋工場、清洲城、貝塚資料館の3施設で行ったスタンプラリーは好評であった。それぞれの施設単体で魅力発信に努めても、集客には限界があることから、個々の運営主体が異なっても連携した取組を進めていくことが大切である。
- 3 「休日の滞在人口率の向上」という数値目標は、人口が増えていくと達成が困難になるという要素も出てくるのではないかな。
- 4 清須市には旧街道や日本で一番長い人工河川など観光資源がたくさんあるので、企業の協賛を募って、そういった所に企業の名前を入れた説明の立て看板を立てていくと、市外から来た方にアピールできるとともに、地元の方にもそういった所があることを知っていただくことで、郷土愛も生まれてくるのではないかな。休日の滞在人口率を上げるためには、市内に住んでいる人が外に出ていかずに、清洲城などに行こうと思うことも大事である。
- 5 色々な所に、色々な良いものはあるが、それがまだまだ発掘されていない、PRされていないと感じる。  
また、そういったものが点になっているので、それをつないだり、もう少し面のような形で広報できるとより魅力が上がるのではないかな。  
具体的に立て看板を例にすると、JR枇杷島駅を降りた所はすごく閑散としているので、もう少し目立つ形で、広報マップやこういった見所があるというものを設置すると良いのではないかな。
- 6 東海豪雨以前は色々な飲食店などが会社の近くにあったが、そういった所が増えてきていない。色々な飲食店がもう少し増えてくると、滞在の部分も増えていくのではないかな。
- 7 会社の社宅ができて人口は増えているが、あくまでも社有の社宅や寮なので、その後はどうやって清須市の中に家を建てて住んでもらうのかということが重要で、そのためには、市の良さをどのようにアピールしていくのかということが今後の課題である。
- 8 子育て支援の部分では、幼児教育や初等教育、中等教育のそれぞれの連携や、例えば幼児教育の段階から英語に携わるなど、強い特色を出していくことが大切である。
- 9 まちおこしの部分では、中身をもう少し充実させていくことが必要で、清洲城も城の目的にとらわれるのではなく、例えば講演会に使用したり、一般の方であれば結婚式やパーティーなど、目的をもっと広げられるのではないかな。
- 10 「あしがるバス」について、行事がある時に走らせたり、高齢の方がお祭りに行くバスであったり、もう少し臨機応変にバスを運行できると利用率も上がるのではないかな。

- 11 清須市の人口についての現状は分かりやすくまとめてあるが、「しごと」という面に関しては、現状分析されている部分がないと感じる。  
「しごと」という面で、事業者数、商工業者数、小規模事業者数などの推移をまず現状として把握することが、清須市の発展には必要である。
- 12 清須市が誕生して10年以上が経過したが、旧町それぞれの特徴が顕著にあり、一体感として見ると、全体的に見て統一感というのか、そういうものがあまり見受けられないと感じる。

## 議事(2) 次期「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の考え方について

- 1 清須市全体での郷土愛につながるような考え方というのを持っていかなくてはいけないと感じる。素案の言葉の中に「シビックプライド」という言葉がないので、改めて郷土愛を育むようなことをもう少しアピールして、入れていただきたい。
- 2 「シビックプライド」の醸成というのは、清須学講座をやったり、清須マイスターを認定することではなく、実際に教育内容が変わったり、人口が増えたりすることなどが清須愛なのではないかなと感じる。「シビックプライド」の醸成は大きな目標で、それに付随するものがいくつかあるのではないかな。
- 3 全国の色々な地方創生の事例の資料を出していただけると、会議の中で色々な議論ができるので、その中からもしかしたらすごく良い案が出るかもしれない。
- 4 基本目標の②と③について、言葉として分かりにくいので、やはり目標はシンプルで分かりやすいものが良いのではないかな。  
「地域の稼ぐ力」や「地域資源」という言葉に注釈を入れなければいけないというのは、やはり分かりにくさがある。
- 5 基本目標の③について、商工業を振興する上では、商業・工業の方のネットワークもこの中に含めていただけると、商工会と市の取組が市民の皆様によくご理解いただけるのではないかな。  
また、市のホームページなどに商工会の活動を載せていただけると、市民の方が、商工会が商業・工業の活性化に努力しているということがアピールできると感じる。
- 6 文化財の活用について、国では今までは文化財の公開だけであったが、今後は地域づくりやまちづくり、観光の要素を含めて保存・活用しようという方向にシフトしているので、清須市にも様々な歴史資源があるので、色々な資源をゼロベースから掘り起こして、それを面としてまちづくりをどうやっていくのかということを考えていただきたい。
- 7 基本目標①の考え方の中に「子育てしやすい」という言葉があるが、行政と市民が思っている「子育てしやすい」という観点について、ギャップがあるのであれば、それを把握して埋めていくことが重要ではないかな。
- 8 市民の声があって初めて行政につながるということを踏まえるとともに、行政としての資源や、人としての資源というものを使えるだけ使って、市の活性化につなげることがベストだと感じる。